

令和4年度 まちづくりを考える日について

- 1 日時 令和4年8月19日(金) 13:30~16:35
- 2 会場 くにびきメッセ 国際会議場 (松江市学園南1丁目2番1号)
- 3 目的 多くの市民の皆さまと一緒に身近な地域活動や取組に触れながら、まちづくりを共に考え、実践がイメージできる機会を提供する
- 4 内容 地域の取組事例発表、活動展示ブース

5 参加状況

区分	参加者数
公的機関 (島根県1、社協14、地区社協13、公民館19、公益財団法人1)	48
松江市町内会・自治会連合会関係者	27
企業	22
市職員	19
その他 (市議会議員、市民など)	14
発表団体	13
市民活動団体	7
参加者 (会場) 合計	150
事務局	15
合計	165

6 発表事例

「補助金グループ」「NPO・市民活動団体グループ」「町内会・自治会グループ」の3つのグループから、合計9つの団体に事例発表いただきました。

- 街コンじゃなくて…森コンでもいいんじゃないね! (森コン実行委員会)
- 「公益社団法人 松江青年会議所 創立65周年記念事業」
2021 JCI Matsue presents Sustainable Space in 島根町 (公益社団法人松江青年会議所)
- 「美人塚はいったい、なぜ?」～東出雲ふるさと再発見プロジェクト part1 美人塚～
(東出雲ふるさと再発見プロジェクト推進隊)
- 日速の森プロジェクト (日速の森プロジェクト運営委員会)
- 朝酌川河川敷フラワープロジェクト (フラワープロジェクト実行委員会)
- 地域貢献! 支え合い! 地域がつながる買い物ツアー (社会福祉法人上口福祉会 ケアハウス古志原ヒルズ)
- ちくや一心助け隊 ～支えあえるまちづくりのために～ (ちくや一心助け隊)
- 災害に強い味方『LINE』の活用 (朝日地区町内会自治会連合会)
- 本庄祭りの復活 (本庄夏祭り実行委員会)



事例発表の様子①



事例発表の様子②

7 パネル展示

希望された事例発表団体に、取組をパネル展示していただきました。
休憩時には特に多くの方にご覧いただきました。



パネル展示の様子①



パネル展示の様子②

8 アンケートより(抜粋)

【回収状況(事務局を除く)】

参加者数	回収数	回収率
150	103 (一般: 86、企業: 17)	69% (小数点以下四捨五入)

参考になった

- ・重要なキーワード等も大変参考になりました。
- ・災害に強いまちづくりの参考になりました。
- ・それぞれの発表団体の発表は、自治会活動に大いに参考になりました。

- ・他団体、他地域の取り組みは具体的でありきっかけや目標、苦勞されたことなど、とても参考になった。
- ・質問内容も濃い内容で大変参考になりました。
- ・様々な取組について成果、課題等を知ることができ、大変参考になった。
- ・大変参考になりました。これからの活動にさらに意欲がでてきました。

発表事例数・発表時間、発表内容について

- ・3 団体の発表そして質疑応答というながれも良かったです。ありがとうございました。
- ・発表時間が1 団体 7 分で聞きやすかったです。
- ・発表事例が多い。数を減らして発表時間をもう少し長く詳しく聞きたい。質問時間が長い。
- ・発表時間については、厳守をした方が良いと思います。
- ・ヒト・モノ・カネすべてについて網羅するとなると、7 分間は少し短いかもしれません。
- ・ある程度時間幅があるとしても、時間のお知らせなどは分かりやすくして欲しい。
- ・団体の数がやや多い。もう少し少なくして発表、取組等々の時間を多くしてあげた方が良いと思った。
- ・1 人の質問者の質問項目数や時間を制限すべき。

プレゼンテーションについて

- ・プレゼンに事業費を発表して欲しい。
- ・スライドの見えにくいものがあつた。事前にチェックして、差し替えるなどのアドバイスをした方が良いかも。

会場について

- ・展示スペースが暗い(仕方ないか?)
- ・展示スペースの椅子は移動してほしい。今回もだが通常の人数だと狭すぎて蜜となる。暗い。

参加者について

- ・各方面の動きが若い世代にも引き継がれればいいですが、まだまだ若い人の参加は、実態として少ないですね。
- ・女性の参加も非常に少なく残念。
- ・幅広い参加者で良いと思う。

その他

- ・県内各地に類似活動があることも分かりました。相互に連携して充実した活動ができればと思いました。
- ・是非、このイベントは続けてください。
- ・参加人数が限られるので、公民館等で皆が見られる、聞くことが出来る DVD 等の提供をお願いします。
- ・発表された事例を別の形でもなるべく多くの方に周知出来るようにして欲しい。
- ・継続するには、財政措置、企業との提携が必要と思いますが、我地区には企業もなく課題となっています。

- ・幅広い分野からの事例を知ることができて、とても良かったです。ノウハウを共有が大切だと感じました。
- ・実践例もですが、考え方や効果、環境等、自分の地域に置き換えて出来る事、出来ない事を検討して、地域全体でまちづくりに取り組みたいと実感しました。
- ・まちづくりとは何か、住民主体とは何か。「想い」の熱量を改めて感じ、また学ばせていただきました。今後も地域住民の立場に立った活動支援、応援をしていきたいと思います。ありがとうございました。
- ・事業の財源については興味がありました。
- ・いろんな地域のまちづくりの発表を聞いて、私共の町でも活性化とする材料があるはず、検討してみよう。
- ・事業化、収益化、有料化などにつながる質問が企業関係者から出ると良いと思いました。
- ・会の趣旨からボランティアにあふれているので、収益化、有料化の話がしにくいと思いますが、財源が無いと持続可能な活動とならないと思いますので、年明けの「つながる日」で構想段階のものが事業化など具体化するようなやり取りがされることを楽しみにしています。
- ・地域の課題に向き合い、自分に出来る事を考え、解決の為に行動をする事が、何よりも大切であると思いました。
- ・課題に向き合う事から、得意な人を探し、必要なプレイヤーと連携していく。その上で、つながりを強化していく事が、世代を越えた取組、持続可能な地域づくりになると考えます。非常に勉強になりました。引き続き宜しくお願いします。
- ・様々な団体、個人の方々が他地域の成功例や状況を知る、共有できることが素晴らしい。
- ・持続可能性のところをもう少し聞きたかった。
- ・地域の皆さんが我が地域の文化資源を掘り起し、素晴らしいところだと内外に発信されること自体が良い。今後のまちづくり、つながりづくりにつながると思う。
- ・いずれの活動も地域で団体で工夫された取り組みと思います。参考事例を知っていることが、取り組みへのハードルを下げるものと思います。情報を共有し、様々な地域に広がることを期待します。
- ・せっかく参加された企業の方々と各団体、地域がつながる仕掛けが目に見えるかたちであると良いと思います。(企業側にどのような貢献、協力、事業との連携等ができるのか、ヒントを持って帰れるような)地域にとっては、企業とのつながりをつくるのが一番苦手なところではないでしょうか。
- ・若者につなげていくことがこれからの課題である。
- ・この「まちづくりを考える日」というイベントも若い人が参加しやすい時間帯に開催すればもっと若い人の目にふれるのではないかと思う。活動も若い人が参加しやすい時間帯であったり条件(参加できなかった時に情報共有する仕組みをつくるなど)をつくれれば良いのではないかと思った。
- ・継続が見込まれる地域の取り組みというのはなかなか難しいものであるとひしひしと感じました。また、難しいということにとどまらず様々な業種がひとつとてであると思わずかわっていくことが必要だと思いました。
- ・最初は小規模な活動でも今後大きくなっていくことが楽しみです。
- ・まちづくりは継続的に行えることがだいじ。組織化することは必要だと思うけどたくさんの方に参加していただく為に変化に柔軟でなくてはならないと感じます。
- ・自分の住まいする地区がいつまでも元気で人が住みたくなるよう、そんな町づくりを考える日は大切だと思い

ます。事例は大きな取組だけでなく細々とした取り組み思いなど聞きかいはあるといいです。

- ・市内の様々な活動まちづくりについて学ぶ機会となりました。短い発表時間の中で、皆さんの熱い思いが伝わってきました。自分の地区へ還元できることはもちかえろうと思いました。本日はありがとうございました。
- ・どこも同じような悩みを抱えていると思った。
- ・各地区や団体の取組みやその結果を知る良い機会であるとともに自身の地区でも何か出来ないかと考える良い機会になりました。ありがとうございました。
- ・7分の発表時間でポイントをつかんだ発表で皆さん素晴らしいと思いました。伝えきれなかったご苦勞もあつたと思います。参加者は何かしらまちづくりに関わっている人達でそれぞれの課題や悩みがあるのだと質問を聞いて思いました。その辺りの悩みの解決にもう少し深入りするようなまちづくりを考える日もあつたらよいと思いました。
- ・発表されたものをほぼ同じようにするのではなく地域の状況も把握した上で展開していく必要があると思います。
- ・「まちづくりを考える日」のねらいや目的など一番大切なものを回を重ねて置き去りにならないようにしてほしい。本質が損なわれることなく。

【企業用】

- ・この様な取組を勉強でき、非常に参考になりました。
- ・自身の仕事で連携、助言ができそうな事例もあり、ご発表いただきました方々と必要に応じて交流していきたいです。
- ・社会解決のヒントが多く聞けました。好事例を皆が共有し、真似し合う機会はとても良いと思います。
- ・事前に発表内容の詳細を共有いただくと、より発表の深度化が図られると思いました。
- ・質疑においては質問者が自地区の参考にしたいという思いが伝わるものが多く、参加者の皆さんの参考になったと思う。
- ・小笠原氏のコメントも他所事例の紹介を含め、的確かつ示唆に富むものであり、興味をもって聞かせていただいた。
- ・活動継続、持続可能という点が重要。個々の努力、アイデアは大切だが、仕組みとしていくことが必要。
- ・個人と民間企業と行政、ボランティアとビジネス、これらのバランスをいかにとって持続していくか、難しい課題と思います。
- ・ビジネスとすることで、若者（現役世代）をいかに呼び込むかも必要な施策と考えます。若者はボランティアでも活躍してくれます。
- ・初めて参加させていただきましたが、それぞれ特色のあるすばらしい取り組みを拝聴させていただきました。ありがとうございました。
- ・一言で「まちづくり」と言っても、様々な切り口があることを改めて感じました。
- ・社業を活かし、地域団体と協働し、地域課題解決に向けた事業解決ができ、地域活性化につながるものを個人としても、組織としても、何らかの形で取り組んでいければうれしく思います。

- ・初めて参加しました。各地域の発展が聞けてとても面白かったと思います。また参加してみたいと感じています。
- ・発表で話した内容を質問される人がいたのは時間の無駄だった。
- ・小笠原さんのアドバイスが大変勉強になった。今後も小笠原さんが参加されるなら、参加したい。
- ・時間配分がもう少し長ければもう少し詳しい内容、説明が聞けたのではないか。例えば、東出雲の「美人塚」の説明由来とか。
- ・発表時間が1団体7分では短いと感じました。また、主催された松江市様においては、今回発表された団体への支援、協力を改めてお願いしたいです。
- ・企業やNPO、公民館など様々な立場の人たちを小グループ化し、討議してもよいのではないのでしょうか。

9 まとめ

2回目の開催となったが、参加者の声やアンケートでは、「参考になった」「まちづくりに取り組みたいと思った」「自身の地区でも何か出来ないかと考える良い機会になった」など、このイベントを通してまちづくりに対して前向きな思いをもっていただけたことがうかがえ、目的である「まちづくりを共に考え、実践がイメージできる機会を提供する」ことが達成できたと考える。また、今後も続けてほしいという声もあり、次年度以降も継続していきたい。

残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大のため今年度も縮小開催としたものの、昨年度より参加者の人数が50名弱増え、さらに多くの多様な方にご参加いただいて地域の取組を共有できたことは大きな意味があったと考えている。また、質疑応答の時間にはたくさんの質問があり、発表いただいた団体と参加者の皆さまが意見交換を行っている場面が多くみられた。

一方、特に各発表団体の時間や発表事例数、発表内容については様々なご意見をいただいております。イベントのあり方、内容について今後も継続して検討していく必要がある。まずは本イベントの目指すところや、発表団体の事業は市民活動の一環でありボランティアでやられているものであること、発表事例数・発表時間の意味や「まちづくりでつながる日」との関係性など、各団体の発表を聞くにあたって事前に参加者にご理解いただきたい点について確実に周知を行い、そのうえでの改善点として何が必要かを見極めていく必要があると考えている。

次年度も、地域で行われている先進的な様々な取組事例を発表いただき、まちづくりの輪が少しずつ他の地域へ広がっていくことを目指して、より良いイベントとなるようブラッシュアップを図っていきたい。